

ASA-IN 研究

血行再建の適応とならない慢性冠症候群患者に対するアスピリンの有効性および安全性の検討



登録患者さん募集中！

未来のより良い医療のために
ご協力頂ける患者さんを
募集しています！

なんの研究？



アスピリンにまつわる研究です。

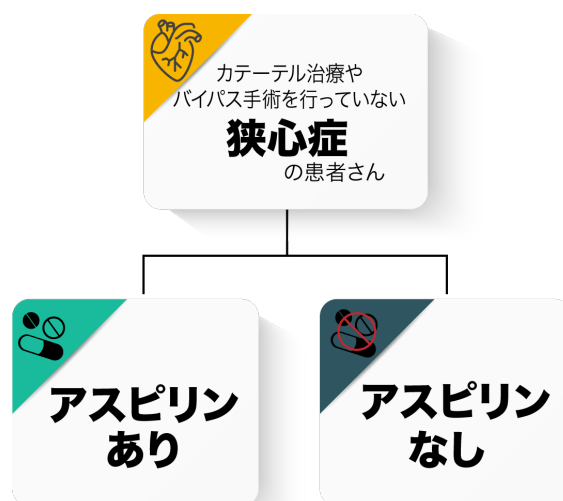
アスピリンというお薬は、解熱鎮痛薬として長い歴史をもつお薬ですが、少量であると、血小板(血液中の血を固まらせる成分)の働きを抑える効果があるため、心筋梗塞や脳梗塞、またカテーテル治療やバイパス手術を行った患者さんが、また同じような病気を起こさないために必須のお薬です。

ですが、狭心症はあるけれども、**程度が軽くカテーテル治療やバイパス手術にならない人**に対してアスピリンを投与して、将来の大きな病気(心筋梗塞や脳梗塞など)を防げるかどうかに関してはデータがありません。

なので、**程度が軽い狭心症の患者さんが健康に暮らしていくためにアスピリンが必要なのかどうかを確かめよう**というのがこの研究の目的です。



実際、何をするんですか？



研究に参加して頂いた患者さんは**アスピリンを飲む群、飲まない群のどちらかの群**になります。数年間の間、心筋梗塞や脳梗塞などの大きい病気にならないかどうか観察させていただきます。**それ以外のお薬や治療などに一切制限はありません。**

今、すでにアスピリンを 服用されている患者さん



コンピューターがアスピリンを飲むか飲まないかを決定しますので、**50%の確率でアスピリンを中止することができます。**

ただ、将来もし、また狭心症が悪くなったり、脳梗塞などになって担当の先生がアスピリンが必要だと判断された場合はアスピリンを再度服用することができますので、**この研究にはいったからと言って、将来何か制限がかかるようなことは一切ありませんのでご安心ください。**

現在、アスピリンを 服用されていない患者さん



コンピューターがアスピリンを飲むか飲まないかを決定しますので、**50%の確率でアスピリンの内服がはじまります。**

ただ、将来もし、胃潰瘍ができたり、手術を受けるようなことになって、担当の先生がアスピリンの中止が必要と判断される場合はいつでもアスピリンをやめることができますので、**この研究にはいったからと言って、将来何か制限がかかるようなことは一切ありませんのでご安心ください。**

未来のよりよい医療のために 是非お力をお貸し下さい！！

今回の研究では**全国で約3000名の患者さんの登録が必要**で、全国の60施設を超える病院の患者さんにご協力頂いて研究を進めています。

今回、この研究ではアスピリンを服用する/しないに関してコンピューターが決めたとおりにして頂く以外は、**一切制限はありません**。あとは、数年間、患者さんご自身に、心筋梗塞や脳梗塞など新たな病気が発生していないかカルテなどをチェックさせていただくだけで、**追加で何かして頂くことは一切ありません**。

今回の研究の結果は、日本だけでなく世界中の、程度の軽い狭心症患者さんの治療指針(ガイドライン)を定める上で、非常に重要なデータになります。

医学の進歩には患者さんのご協力が必要不可欠です。未来のよりよい医療のために、是非お力をお貸し下さい！

お問い合わせ先

ASA-IN 研究事務局
京都大学医学部附属病院
循環器内科(担当: 山本)
京都大学医学部附属病院
臨床研究相談窓口

✉ asa-in@seiken-site.or.jp

☎ 075-751-4254

☎ 075-751-4748